

** 2012年4月 第3版
製造販売業者の住所変更に伴う改訂等
* 1997年7月 第2版 改訂
<貯法> 気密容器

下 剤

日本標準商品分類番号 872356
承認番号 16000AMZ04512000
薬価収載 1950.10
販売開始 1949.08
再評価公表 1981.08

日本薬局方

加香ヒマシ油

** 販売名：加香ヒマシ油「コザカイ・M」

Aromatic Castor Oil

*【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

1. 急性腹症が疑われる患者 [症状を悪化させるおそれがある。]
2. 瘻れん性便秘 [症状を悪化させるおそれがある。]
3. 重症の硬結便 [症状を悪化させるおそれがある。]
4. ヘノポジ油、メンマ等の脂溶性駆虫剤を投与中の患者 [これらの薬剤の吸収を促進して中毒を起こすおそれがある。]
5. 燐、ナフタリンなどの脂溶性物質による中毒時 [これらの吸収を促進して中毒症状を悪化させるおそれがある。]

*【組成・性状】

本品 1,000mL 中に、ヒマシ油 990mL を含む。
添加物としてオレンジ油、ハッカ油を含む。
本品は無色～類黄色澄明の濃稠な液で、芳香がある。

【効能・効果】

便秘症、食中毒における腸管内容物の排除、消化管検査時又は手術前後における腸管内容物の排除

【用法・用量】

ヒマシ油として、通常成人は 15～30mL (増量限度 60mL) 小児は 5～15mL、乳幼児は 1～5mL を、それぞれそのまま又は水、牛乳などに浮かべて頓用する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

小腸の消化吸収を妨げ全身の栄養状態に影響を及ぼすことがあるので連用を避けること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
消化器	悪心・嘔吐、腹痛等
過敏症 ^{注)}	過敏症状

注) このような症状があらわれた場合は投与を中止すること。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4. 妊婦・産婦・授乳婦への投与

- 1) 子宮収縮を誘発して流産の危険性があるので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。
- 2) ヒト母乳中に移行し乳児の下痢を起こすことがあるので、授乳中の婦人には投与しないことが望ましい。

5. その他の注意

即効性であるので、就寝前の服用を避けさせること。

*【薬効薬理】

小腸内でリパーゼにより、グリセリンとリチノール酸に加水分解され、このリチノール酸が小腸を刺激し瀉下作用をあらわす。

*【有効成分に関する理化学的知見】

・ヒマシ油

無色～微黄色澄明の粘性の油で、わずかに特異なおいがあり、味は初め緩和で、後にわずかにえぐい。本品はエタノール (99.5) 又はジエチルエーテルと混和する。本品はエタノール (95) に溶けやすく、水にほとんど溶けない。

本品は 0℃ に冷却するとき、粘性を増し、徐々に混濁する。

【包装】 500mL

** 製造販売元



小堀製薬株式会社

** 東京都墨田区両国 4-36-9